

自分の身は、自分で守る ～災害への事前の備え～

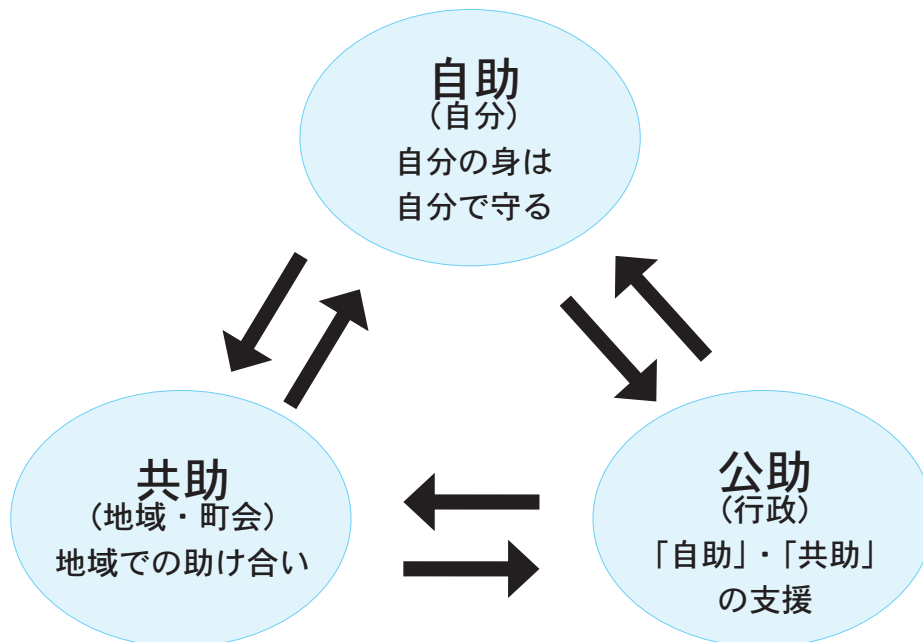
東日本大震災から2年が経過した現在も、余震とされる地震が発生しているほか、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震などの大地震が、近い将来に発生するとされています。

いつ起こるか分からない大地震が発生し、あなたが被災してしまったとき、誰が助けてくれるでしょうか。もちろん消防や警察、自衛隊など行政は全力をあげて救助活動にあたります。しかし、道路が寸断されたり、交通機関が止まったりすることにより、過去の災害対応の実績から、本格的な救護・救助活動が始まるまでに3日を要すると言われています。

では、「自分や家族の身を守る」ためのどのような備えをしたらよいのか考えてみましょう。



「命を守るネットワーク」



この図式は「命を守るネットワーク」といわれるものです。

防災対策には、「自助」・「共助」・「公助」の3つの力が連携することが重要です。それぞれが個別に対応するのではなく、三位一体となって地域防災力(地域が持つ災害への対応力)の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

「共助」の一つとして、「災害時要援護者避難支援制度」を推進しています。それは、災害時要援護者を、誰が避難所に誘導するかなどについて、あらかじめ地域住民の皆さんで決めておく制度です。

※災害時要援護者…災害発生時、自力避難が困難となり、家族以外の支援を必要とする高齢者や障がい者など

9月1日は「防災の日」です。

1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなみ、広く国民が台風や津波、地震などの災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する日として1960年(昭和35年)に制定されました。



●災害への備え 「自助」⇒身近なことから！

自分や家族の命を守るために何をすべきでしょうか？

それはまず、自らの力で被害を受けないための努力です。家具の転倒防止・ガラスの飛散防止対策など身近なことで減災に努めましょう。またライフラインが止まってしまった場合を想定して、日頃からどのような日用品を備え、どのように情報を得たらよいのか考えてみましょう。

●電気が止まると…

- ・テレビから情報が得られません
- ・日が暮れると真っ暗になります
- ・冷房や暖房、冷蔵庫や電気調理器具の使用ができません



- ・携帯ラジオや懐中電灯、ろうそくを備え、予備の電池を用意しましょう
- ・市の防災行政無線、緊急速報メール、ツイッターなどで情報を確認しましょう
- ・暑さ寒さをしのげる衣服、タオルなどを用意しましょう
- ・調理せずに食べられる食料を最低3日分用意しましょう

●水道が止まると…

- ・水が飲めません
- ・手洗いやうがい、洗濯ができません
- ・お風呂に入れません
- ・水洗トイレを流せません



- ・飲料水は1人1日3ℓを目安に最低3日分を保存しましょう
- ・ウェットティッシュがあると便利です
- ・仮設トイレが設置されるまでの間、簡易トイレ(袋)を用意しましょう
- ・浴槽には残り湯をためましょう

●ガスが止まると…

- ・湯を沸かすことも調理することもできません



- ・卓上コンロ、ガスボンベを用意しましょう

●大地震に備えて、家族会議を開きましょう

自宅にいるときに地震が起きたら、家族全員の安全を確保できますか。また、家族全員が自宅にいるとは限りません。災害時に慌てずに行動できるよう、日ごろから家族で大地震が起きた時、何をすればよいのか話し合うことが大切です。

- 自宅の安全確認(家具の転倒防止、自宅の耐震診断、改修工事など)
- 非常用品(持出品、備蓄品)の確認
- 揺れがおさまった後にすること(火の始末、電気のブレーカーを落とす)
- 集合場所・避難場所
- 家族間の連絡方法(災害用伝言ダイヤル「171」の使い方など)、などを話し合ひましょう。

●防災行政無線自動放送試験のお知らせ

今年も全国瞬時警報システム(J-ALERT)の全国一斉自動放送試験が実施されます。

全国のJ-ALERTを運用する地方公共団体すべてで行われ、本市では防災行政無線から自動放送されます。これは緊急地震速報などの情報が、緊急時に市民の皆さんへ確実に伝達されるか確認するために実施されるものです。

- ▶日時 9月11日(水)午前11時、午前11時30分(2回放送予定)
- ▶内容 「これは試験放送です」×3回+「こちらは防災さのです」+下りチャイム

- ・消防庁ホームページ

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h25/2505/250531_1houdou/01_houdoushiryou.pdf

■問合せ 危機管理課 ☎(20)3056

